

研推だよりNo.22



令和4年
10月31日
研究推進部会

タブレット持ち帰りの「三小版ミニマム」で、私達教職員の共通理解を進めていきます

1 タブレット持ち帰りミニマム（案）※詳細は別紙参照



タブレット持ち帰りの考え方【ミニマム】

持ち帰りの実施は、教育の質向上による教育の発展のため、学校全体で行っていくことを考慮し、全校職員がこれからの社会で必要な教育環境を整えることにつながることを目的として、この持ち帰り方法を実施する。また、このミニマムは、各校で共有することとする。

持ち帰りの目的

1. 学校での学習と家庭での学習をより密接にし、即時的・継続的に取り組むことで学力の向上を図る。
(学びの連続性)
2. いつでも、どこでも学習を可能にし、あらゆる児童の状況に対応した学習を促進する。
(学びの多様性)
3. Society5.0のテクノロジーについての理解を深め、これからのデジタル社会基盤に対応する基礎を養う。
(学びの発展性)

学校全体でそろえる枠組み

- 頻度**
- 1・2年生…基本的に月一回
 - 3・4年生…原則、毎週持ち帰り。※状況に応じて、隔週にするなど調整する。
 - 5・6年生…毎週持ち帰り。
- ※1…持ち帰りの頻度は、学年でそろえて調整する。
※2…1・2年生は学習帳を月1回持ち帰ることを伝える。3年生以上は、特に伝えない。
※3…持ち帰る日は遠征に調整する。

電源コード 電源コードは学校に保管し、持ち帰らない。

使用時間 学年×1.0分を基本に、健康に留意して使用する。

持ち帰り方 スマホにインストールし持ち帰る。

※1…今後導入する予定の学習帳にスマホケースに入れて持ち帰る方向で考えていく。
※2…紙と持ち帰り方と異なる場合は、紙と持ち帰り方とを併せて説明する。

活用し方 家庭での使用上のルールは学校での活用し方に準ずることとし、持ち帰り上の留意点については、先日学校より配布したタブレットの持ち帰りについてを参照することとする。

年度初めの準備・年度末の事務処理

担当	各学年・学級	
年度初め	① 端末のID確認と振り直し ② 授業資料の文庫の作成・配付	① 端末への記名シール押印・貼付 ② 学級での事前指導
年度末	③ 校への返却準備	③ 返却準備・故障などの報告 ④ ファイル整理

タブレットの持ち帰り試行期間が終わりました。持ち帰りの良い点や不都合のある点を研推で検討し、「タブレット持ち帰りミニマム（案）」（詳細は別紙）を作成しました。今後の持ち帰りの基本的な指針となりますので、先生方としっかり共通理解をしたうえでGO!としたいと思います。「ミニマム」としているのは、「学級の実態や学習状況によって持ち帰りの回数や内容にどうしても差が出てきてしまう、でもそれはある程度仕方がないことではないか？」と考えたからです。そこで学校全体で全ての学級をそろえるのではなく、「最低限ここまではみんなでやりましょう」というミニマムを取り組みの方が無理ないのかな、と考えこの形で提案しました。

今のところ11月からの持ち帰り開始を予定しています。お気づきの点などありましたら御意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

2 MMM（みんなでもちよるMy実践）の取組開始

2学期最初の「研推だよりNo.12」でもお知らせしましたが、「Re-Start10」の取組の1つとして「MMM ~みんなでもちよるMy実践」を始めていきたいと思っています。校内研究で取り組んでいる「ICT」に関わる授業や活動について、先生方みんなで紹介・共有する時間をつくりたいな、と考え始めてみることにしました。最初は月に1回くらいのペースで、15分程度の時間で実施していきます。授業でトライしてみてどうだったか（うまくいった、難しかった、慣れればできそう、などなど）など、ざっくばらんに話をして共有していく時間にできればと思います。毎回必ずやったことを報告するだけではなく、「今度こんなことやってみたいと思うんだけど…」という相談も、もちろんOKです。御協力よろしくお願いいたします。

<MMMの進め方> ※月曜日か水曜日の16:30~16:45の15分間でやります。

1. グループで実践共有・使い道の相談
2. 話し合いで話題になったことを記録する
3. 時間があれば全体で紹介・共有



↓これ、三小で導入してませんか？

KONAMI



授業でのカリキュラムに合わせた各種機能を搭載。楽しみながら学ぶことができます (KONAMI HPより)



↓気になる方はこちらをクリック！
(小学校での体験動画もご覧いただけます)

